SONY

3-227-414-**03**(1)

Digital Voice Editor

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、Digital Voice Editorのソフトウェアのインストールと使いかたについて説明しています。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
なお、最新の情報がCD-ROMのReadme.txtファイルに記載されていますので、併せてお読みください。

ICKIT-W5

はじめに

この取扱説明書では、ソニーICレコーダー専用パソコン接続キットの使いかたと付属のソフトウェアのインストールと使いかたについて説明します。始める前に、ICレコーダー本体の取扱説明書もご覧ください。

□ 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
□ このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□ このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□ このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- Digital Voice Editorはソニー株式会社の商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

- Dragon Systems, DragonSpeechはL & Hの登録商標または商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- 視覚障害者用Windows画面音声化ソフト「95Reader」は、日本障害者雇用促進協会障害者職業総合センターの研究成果を（株）システムソリューションセンターとちぎが製品化したものです。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、Rマークは明記していません。

目次

はじめに

準備

操作

その他

ご注意

- 本ソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindows®の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 操作説明のイラストは、ICD-BP120/BP220/BP320と接続した場合のものを使用しています。

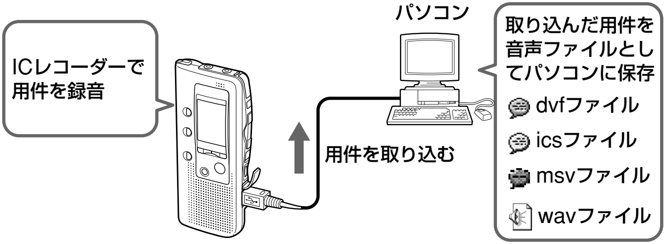
このソフトウェアでできること

こんなことができます

Digital Voice Editorを使って、ソニーICレコーダーに録音した用件をパソコンに取り込み、用件の管理、再生などを行うことができます。

●ICレコーダーで録音した用件をパソコンに取り込む

ICレコーダーに録音した用件を、用件単位、フォルダ単位、または全用件をパソコンに取り込み、フォルダごとハードディスクなどに保存できます（14ページ）。保存形式は、ソニー独自のdvfファイル、icsファイルのほかに、メモリースティック独自のmsvファイル、wavファイル（8ビット／16ビット）から選べます（15ページ）。



●パソコン上で用件を再生する

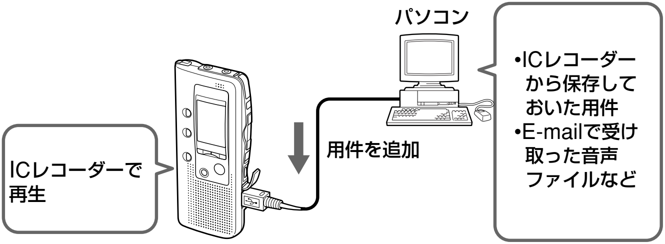
用件をパソコン上で再生することができます。通常の再生のほか、リピート再生、A-B間リピート再生などを行うことができます。

●パソコンに保存した用件をICレコーダーに追加、ICレコーダーで再生する

一度パソコンに保存した用件はもちろん、E-mailなどで受け取った音声ファイル（dvf、msv、ics、wav形式*）を用件単位、フォルダ単位でICレコーダーに追加することができます（16ページ）。

追加した用件は、ICレコーダー上で再生できます。

* 追加できるのは、ソニーICレコーダーで録音したdvf/icsファイルとPCM 44.1/16/11/8kHz、8/16ビットモノラル（44.1kHzのみステレオ）のwavファイル、msvファイルのみです。



●パソコン上でICレコーダー内またはパソコンに保存された用件を編集する

ICレコーダー内の用件、パソコンに保存した用件とも、用件タイトルやユーザー名の入力、用件のソート、重要マークやブックマークの設定／解除、用件の分割／結合など、パソコン上でさまざまな編集が可能です。ICレコーダー内の用件については、パソコン上で順番を移動させることができます。また、パソコン内に保存された用件については、音声ファイル形式を変換して保存することができます。

●その他の便利な使いかた

– Digital Voice Mail**を使って音声メールを送る。**

Digital Voice Editorの音声ファイルを添付して音声メールが送れます。専用のアドレス帳を使って簡単に送信ができます。（音声メールを送るには、別途プロバイダーと契約する必要があります。）

－音声認識ソフトウェアDragonSpeech™との組み合わせで、ICレコーダーで録音した音声を文字に変換する。（Dragon Systems®社のDragonSpeechをインストールしている場合のみ）

ICレコーダーに録音した音声を、Digital Voice Editorでパソコンに取り込み、さらに音声認識ソフトウェアDragonSpeech（別売り）とリンクさせて、文字に変換（テキスト変換）することができます。

対応しているバージョンについてなど、詳しくは別冊の「音声認識の手引き」をご覧ください。

– **ICレコーダーの設定を変更する**

Digital Voice Editor側でICレコーダーのユーザー名、タイマー録音やアラーム再生の設定／解除やその他の動作モードなどを変更することができます。

各操作の詳細はオンラインヘルプを参照してください。

この取扱説明書について

本書では、ICレコーダー専用ソフトウェアDigital Voice Editorの基本的な使いかたを説明しています。
各メニューの内容やさらに詳しい説明についてはオンラインヘルプを、最新情報についてはReadmeをご覧ください。Readmeを開くには、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］→［Sony Digital Voice Editor］→［はじめにお読みください］を選びます。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには

下記のいずれかを行ってください。

- ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］→［Sony Digital Voice Editor］→［ヘルプ］を選ぶ。
- Digital Voice Editorを起動した状態で、［ヘルプ］メニューから［トピックの検索］を選ぶ。
- Digital Voice Editorを起動した状態で、ツールバーの （トピックの検索）ボタンをクリックする。

ヘルプの目次から検索するには

- をダブルクリックすると、その中にある項目のタイトルが表示されます。
- をダブルクリックすると、その項目の説明が表示されます。

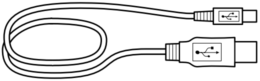
キーワードで検索するには

上のトピックの検索ダイアログで、［キーワード］タブをクリックすると、目次が消えて、キーワードの一覧が表示されます。
キーワードを探すには、検索する語句を入れるか、またはキーワードの一覧をスクロールします。
キーワードの説明を表示するには、キーワードの一覧からキーワードを選択して［表示］をクリックします。

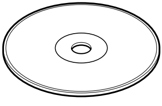
付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。付属品の中に不足しているものがあるときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

- 接続ケーブル（1本）



- CD-ROM（1枚）



- 取扱説明書（本書）（1部）
- 音声認識の手引き（1部）
- 保証書（1部）
- カスタマーご登録のお願い（1部）
- カスタマーご登録お申込書（1部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1部）

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

□ 以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機
－ CPU： 200MHz以上のPentium®プロセッサもしくは同等の性能を有するプロセッサ（NEC PC-98シリーズとその互換機では動作保証いたしません。Macintoshには対応していません。）
－ RAM容量：64Mバイト以上
－ ハードディスクの空き容量：20Mバイト以上（音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。）
－ ドライブ： CD-ROMドライブ
－ 通信ポート： USB
－ サウンドボード：Sound Blaster 16互換
□ OS： Microsoft Windows® XP Home Edition/Professional、Windows® 2000 Professional、Windows® Millennium Edition、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition 標準インストール（日本語版）
（Windows® 95、Windows® NTには対応していません。）

Digital Voice Editorをインストールする

インストールする

Digital Voice Editorをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意
Digital Voice Editorをインストールする前にICレコーダーをパソコンに接続しないでください（10ページ）。

1 パソコンの電源を入れ、Windows®を起動する。

ご注意
- インストールするときは、Windows®の他のアプリケーションは終了させておいてください。
- Windows® 2000 Professional上でインストールを行う場合、必ずユーザー名「Administrator」でログオンした後に行ってください。
- Windows® XP Professional/XP Home Edition上でインストールを行う場合、必ず「コンピュータの管理者」*に所属するユーザー名でログオンした後に行ってください。

* ユーザー名が「コンピュータの管理者」に所属しているかの確認は、Windows®の［コントロールパネル］－［ユーザー アカウント］を開き、表示されるユーザー名の下の部分をご覧ください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

CD-ROMを入れると、インストーラーが自動的に起動し、右の画面が表示されます。起動されない場合は［Japanese］フォルダの中の［DVEsetup.exe］をダブルクリックしてください。



ご注意
Windows® XP Professional/XP Home Edition上では、インストール時に「ソフトウェアのインストール」という警告が表示される場合があります。動作上問題はありませんので、［続行］を選択し、ご使用ください。

3 画面の表示に従って操作する。

［再起動］のダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックしてコンピューターを再起動してください。再起動後インストールが完了します。

☞ Digital Voice Playerについて

付属のCD-ROMでDigital Voice Editorソフトウェアをインストールすると、Digital Voice Playerソフトウェアも同時にインストールされます。
Digital Voice Playerは、パソコンに保存した音声ファイル(dvf形式、ics形式、msv形式、wav形式）の再生ができるソフトウェアです。Digital Voice Editorを起動しなくても、再生とファイル形式の変換の機能が使えます。
ICレコーダーで録音した用件をDigital Voice Editorでパソコンに取り込み、音声ファイルをE-mailに添付して送る場合、相手側で簡単に音声ファイルを再生できるように、Digital Voice Playerのセットアッププログラムを添付することもできます。メールを受け取った人は、セットアップを実行することにより、Digital Voice Playerをインストールし、音声ファイルを再生できます。

＜メール添付方法＞

- **Digital Voice Mailをご使用の場合:**
  メール画面上で[Digital Voice Playerの添付]にチェックを付けます。
- **他社製メールソフトをご使用の場合:**
  Digital Voice Editorをインストールしたフォルダにある[DVPsetup.exe]を添付します。CD-ROM内の[Japanese]-[Digital Voice Player]フォルダにある[DVPsetup.exe]を添付することもできます。

アンインストールする

このソフトウェアが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］→［Sony Digital Voice Editor］→［アンインストール］を順に選ぶ。

アンインストーラーが起動されます。

2 画面に従って操作する。

ご注意

このソフトウェアを一度インストールしたあと、別のドライブまたはフォルダに移動させる場合は、アンインストールしてから再度インストールを行ってください。ファイルを移動しただけでは、ソフトウェアは動作しなくなります。

☞ ［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］でもアンインストーラーを起動することができます。

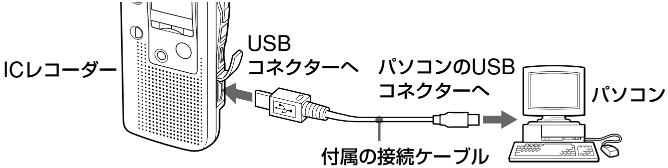
ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンで用件をやりとりするためには、ICレコーダーをパソコンに接続します。

ご注意

ICレコーダーをパソコンに接続する前に必ずDigital Voice Editorをインストールしておいてください（8ページ）。Digital Voice Editorをインストールしないで接続した場合、「新しいデバイスの検索ウィザード」などが表示されますが、その場合は［キャンセル］をクリックしてください。

ICレコーダーのUSBポートとパソコンのUSBポートを、付属のUSB接続ケーブルで接続します。*



USB接続ケーブルは、ICレコーダーとパソコンの電源を入れた状態でも切った状態でも抜き差しできます。接続するとすぐにパソコン側ではICレコーダーを認識することができ、用件のやり取りが行えます。

* ICD-BP120/BP220/BP320と組み合わせてお使いの場合

ご注意

- Windows® XP Professional/XP Home Edition上では、初めてUSBポートに接続したときに、「新しいデバイスの検索ウィザード」が表示されます。［ソフトウェアを自動的に追加する］を選択し、［次へ］をクリックしてください。ここで、「ハードウェアのインストール」という警告が表示される場合がありますが、動作上問題はありませんので、［続行］を選択してください。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時はICレコーダーの電池残量（ 1個点灯以上）を確認してから使用してください。電池の残量が少ない場合、通信ができないことがあります。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、専用USBケーブルをはずしておいてください。

Digital Voice Editorを起動する

1 Windows®を起動する。

2 **[スタート]、[プログラム] を順に開き、プログラムメニューの中の [Sony Digital Voice Editor] から [Digital Voice Editor] をクリックする。**

Digital Voice Editorが起動し、メイン画面（12ページ）が表示されます。

ICレコーダー内のデータが自動的に読み込まれ、メイン画面のICレコーダー側用件表示部にICレコーダー内の用件フォルダと用件ファイルが表示されます。ICレコーダーを接続していない場合は、ICレコーダー側用件表示部には何も表示されません。ICレコーダーを接続して、手順3へ進みます。

3 **ICレコーダー側用件表示部に何も表示されていない場合は、メイン画面左下の[接続]ボタン（12ページ）をクリックする。**

ICレコーダーの用件がICレコーダー側用件表示部に読み込まれます。

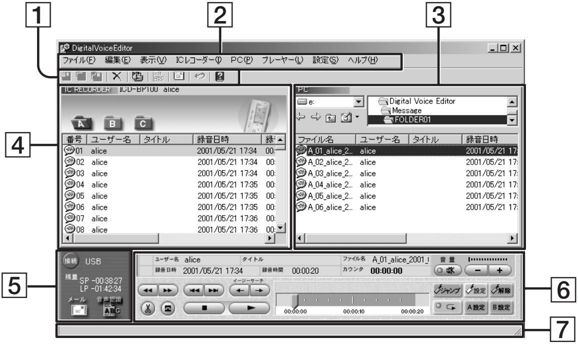
ご注意

- 接続ボタンを押しても用件が読み込まれず、エラーメッセージが表示される場合は、ICレコーダーが正しく接続されていません。接続を確認してください。
- ICレコーダー側のフォルダ数は、お使いになっているICレコーダーによって異なります。

終了するには

画面右上の [X] ボタンをクリックするか、[ファイル] メニューから [終了] をクリックします。

メイン画面の各部の名前と働き



1 **ツールバー**

頻繁に使用するメニューコマンドがボタンになっているのがツールバーです。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

2 **メニューバー**

メニューバーは各メニューコマンドを実行します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

3 **PC側用件表示部（13ページ参照）**

パソコン内の用件の内容が一覧表示されます。

4 **ICレコーダー側用件表示部（13ページ参照）**

接続したICレコーダー内の用件が一覧表示されます。

5 **接続ボタン、メールボタン、音声認識ボタン**

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

6 **プレーヤー部**

用件の再生を操作する部分です。再生中の用件の情報が表示されます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

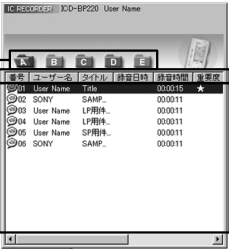
7 **ステータスバー**

現在の状態を表示します。

ICレコーダー側用件表示部

フォルダ表示部
ICレコーダー内の用件フォルダが表示されます。クリックするとフォルダが開いた状態になり、用件フォルダ内の用件が下の用件表示部に表示されます。

リスト表示項目
下の用件リストの表示項目です。用件番号、タイトル、録音時間など項目をクリックすると、用件が選択した項目の順番にソートされます。

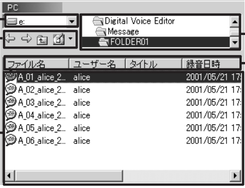


用件一覧
フォルダ表示部で選んだフォルダ（A、B、Cなど）内の用件の用件番号、ユーザー名、タイトル、録音時間、録音日時、重要マーク、ブックマーク、アラーム設定、圧縮方式、録音モード（SPまたはLP）が一覧表示されます。

PC側用件表示部

ドライブ表示部
PCハードディスク内のドライブが表示されます。ドロップダウンリストから表示したいドライブを選びます。

フォルダ切り換えボタン
以前に表示したフォルダに戻るとき、上の階層のフォルダまたはデスクトップを表示するときに使用します。



用件一覧
フォルダ表示部で選んだフォルダ内の用件のファイル名、ユーザー名、タイトル、録音時間、録音日時、重要マーク、ブックマーク、圧縮方式、録音モード（SPまたはLP）が一覧表示されます。

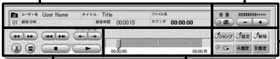
フォルダ表示部
ドライブ表示部で選んだドライブ内のフォルダがツリー表示されます。保存されているファイルを表示したいフォルダをクリックして選びます。

リスト表示項目
下の用件リストの表示項目です。用件番号、タイトル、録音時間など項目をクリックすると、用件が選択した項目の順番にソートされます。

プレーヤー部

再生用件表示部
現在再生中の用件のユーザー名、タイトル、ファイル名、録音年月日、トータル録音時間、カウンターが表示されます。

音量調整部
音量を調整します。（音量+/–ボタン、🔇ボタン）



特殊再生部
ブックマーク設定、リピート再生など、特殊再生用のボタンがあります

再生操作部
用件の再生を行うボタンがあります。
（巻き戻し、早送り、キュー、レビュー、インデックス追加、インデックス削除、イージーサーチ巻き戻し、イージーサーチ早送り

再生スライダーバー
用件の再生に合わせてスライダーが移動します。

操作

用件をパソコンに保存する

用件はパソコンのハードディスクなどに音声ファイルとして保存できます。以下の2通りの方法があります。

- ファイル形式やファイル名を指定して保存する
- ドラッグアンドドロップでdvf形式で保存する

ここでは、「ドラッグアンドドロップ」の方法を説明します。ファイル形式を選んで保存する場合の操作方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

- ファイル名には以下の文字、記号は使用できません。
  ￥　/　:　＊　?　"　<　>　|
- すでに同じ名前の用件が保存されているときは「ファイルの上書きの確認」ダイアログボックスが表示されます。上書きするときは［はい］を、ファイル名を変更するときは［いいえ］をクリックしてください。
- 保存した用件にはアラーム設定の情報は残りません。

用件を1件ずつ保存する（一件保存）

1 「ICレコーダー」側に表示されている用件から、保存したい用件をクリックして選ぶ。

2 「PC」側にドラッグアンドドロップする。

用件はdvf形式で保存されます。ファイル名は自動的に付けられます。

1フォルダ中の用件をすべて保存する（1フォルダ保存）

1 「ICレコーダー」側に表示されているフォルダから、保存したい用件フォルダ（A、Bなど）をクリックして選ぶ。

2 「PC」側にドラッグアンドドロップする。

用件フォルダ内の用件がフォルダごとdvf形式で保存されます。ファイル名は自動的に付けられます。

全用件を一度に保存する（全件保存）

1 「ICレコーダー」用件表示部を選ぶ。

2 ツールバーの [全件保存] をクリックする。

「保存する場所」ダイアログボックスが表示されます。

3 ハードディスク内の保存先を指定して、「ファイルの種類」から保存したいファイル形式を指定する。フォルダ名を変更したい場合は、変更したいフォルダ名を入力する。

フォルダ名は、自動的に「ICレコーダーの機種名_現在の年月日」（例：ICD-BP120_2001_07_04)が入力されます。後でICレコーダーに戻す場合は、dvf形式で保存するようにしてください。

4 [保存]をクリックする。

フォルダの中の用件は指定したファイル形式で保存されます。ファイル名は、「プロパティ」ウィンドウでの保存ファイル名の設定に従って自動的に振られます。

保存形式（ファイル形式）について

Digital Voice Editorで扱えるファイル形式は以下の通りです。詳しくは、オンラインヘルプの「対応しているファイル形式について」をご覧ください。

dvfファイル形式（Digital Voice File/拡張子：.dvf)
USBポート付きのICレコーダICD-BP250/450用のファイルと、ICD-BP120/220/320用のファイルです。

msvファイル形式（MEMORY STICK Voice/拡張子：.msv）
メモリースティックICレコーダーICD-MS500用のファイルと、ICD-MS1/MS2用のファイルです。

icsファイル形式（SONY IC RECORDER/拡張子：.ics）
ICレコーダーICD-R100/R200用のファイルです。

wavファイル形式（WAV FILE [8kHz/11kHz/16kHz、8bit/16bit、モノラル]、[44.1kHz、16bit1、ステレオ]/拡張子：.wav）

パソコンに保存した用件をICレコーダーに追加する

パソコンに保存した用件をICレコーダーに追加することができます。1件ずつまたは1フォルダ内の用件を一度に追加できます。以下の2通りの方法があります。

- 指定したフォルダの最後に保存する
- ドラッグアンドドロップでフォルダの任意の位置に保存する

ここでは、「ドラッグアンドドロップ」の方法を説明します。フォルダを指定して保存する場合の操作方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

- 追加した用件はICレコーダー内の他の用件と同様に再生できます。
- 追加した用件のアラーム設定は解除されています。

ご注意

ICレコーダーのメモリーいっぱいまで録音されているときや、追加すると99件（各フォルダにつき）を超えてしまう場合は、用件を追加することはできません。用件をいくつか消去してから、操作し直してください。

用件を1件ずつICレコーダーに追加する

パソコンに保存した用件をひとつずつICレコーダーに追加できます。

1 「PC」側に表示されている用件から、追加したい用件をクリックして選ぶ。

複数の用件を選ぶには、連続して選ぶ場合はShiftキーを押しながら、離れた用件を選ぶ場合はCtrlキーを押しながらクリックします。異なるファイル形式のファイルも同時に選べます。

2 「ICレコーダー」側にドラッグアンドドロップする。

追加したい位置（用件）に合わせてドロップします。
用件が指定した行の上に追加されます。最後の行にドロップした場合は、前と後ろのどちらに挿入するかを訊ねるダイアログボックスが表示されますので、いずれかを選び、[OK]をクリックします。

ICレコーダー側用件表示部の上にあるフォルダ表示部のフォルダ上にドラッグアンドドロップすると、用件がフォルダ内の最後に追加されます。

1フォルダ内の用件をすべてICレコーダーに追加する

パソコンに保存した用件は、ICレコーダーにフォルダ単位で追加できます。

1 **「PC」側に表示されている用件から、追加したいフォルダをクリックして選ぶ。**

2 **「IC レコーダー」側にドラッグアンドドロップする。**

フォルダ内の用件が指定した行の上に追加されます。最後の行にドロップした場合は、前と後ろのどちらに挿入するかを訊ねるダイアログボックスが表示されますので、いずれかを選び、[OK]をクリックします。

☞ ICレコーダー側用件表示部の上にあるフォルダ表示部のフォルダ上にドラッグアンドドロップすると、フォルダ内の用件が指定したフォルダ内の最後に追加されます。

故障かな？と思ったら

こんなときは

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ICレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因/対策
インストールできない。	● ハードディスクの空き容量が少ない。 → 容量を確認してください。 ● Windows®95/NTにインストールしようとした。 → 対応しているOSにインストールしてください（7ページ参照）。
ICレコーダーに録音した用件が読み込めない。	● インストールやケーブルの接続を正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – ICレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – ご使用のパソコンに複数のUSBポートがある場合には、他のポートで接続してみてください。 ● オンラインヘルプ「エラーメッセージ一覧」参照。
用件やicsファイル、wavファイルが再生できない。	● サウンドボードがついていない。（7ページ） ● パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 ● ミュートが解除されていない。
再生音量が小さい。	● パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。） ● wavファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windows®に搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	● 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性がある。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではWindows®用パソコン接続キットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：ICKIT-W5
- Digital Voice Editorのバージョン
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- ご使用の環境:
  - ご使用パソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量

お問い合わせ窓口のご案内

パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：ICKIT-W5
- Digital Voice Editorのバージョン
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
  - ご使用のパソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙とVOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。